

令和 6 年度「教育に関する事務の管理及び執行
状況の点検・評価」報告書

阿久根市教育委員会

1 「点検・評価」の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下、「法」という。）第26条の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとなっています。

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

阿久根市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすため、「教育委員会の点検・評価」を実施し報告書をまとめました。

なお、点検・評価の内容や報告書の様式、議会への報告方法などは、各市町村教育委員会で決定することとなっています。

2 教育委員会の概要

(1) 教育委員会の趣旨

教育に関しては、教育の機会均等、教育水準の維持・向上、地域の実情に応じた教育の振興を図るため、地方公共団体の長から独立した行政機関として「教育委員会」が置かれ、それぞれに属する権限の範囲内で相互に対等かつ独立して事務を執行しています。

よって、市の学校教育、社会教育、スポーツ、文化財等についての具体的な方針や施策は、この「教育委員会」の合議で決定されることになります。

(2) 教育委員会制度

阿久根市教育委員会は、教育長及び4人の委員で構成されており、教育長及び委員は市長が市議会の同意を得て任命します。

教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表します。

また、市長は、教育行政の大綱の策定や教育の条件整備など、

重点的に講ずべき施策等について協議・調整を行うため、総合教育会議を設置しています。

(3) 教育委員の構成

(令和6年6月1日現在)

職 名	氏 名	任 期	期数	備 考
教 育 長	中 野 正 弘	令和6年5月11日 ～令和9年5月10日	3	
委 員 (教育長職務代理者)	大 漉 孝 夫	令和3年7月1日 ～令和7年6月30日	4	
委 員	古 賀 正 男	令和3年10月1日 ～令和7年9月30日	4	
委 員	中 野 真 理	令和5年10月1日 ～令和9年9月30日	5	
委 員	西 園 敦 子	令和5年2月17日 ～令和9年2月16日	4	

3 「点検・評価」の内容等

(1) 事務内容等の決定

教育委員会が管理・執行する事務は、広範囲に及んでいます。

そこで、教育委員会事務局各課において、阿久根市教育振興基本計画の各課の事業について、令和5年度中の「点検・評価」を実施しました。

(2) 「点検・評価」の手順

点検・評価の実施に当たっては、令和5年度の活動や実施状況についてAからDの評価区分に基づき各課で自己評価を行い、その進捗状況や成果・課題を把握した上で特記事項としてまとめました。

4 全体的な教育予算及び主要事業

令和5年度の教育費の予算総額は11億9,364万円（補正第9号現在）で、市の一般会計予算総額136億5,076万円（補正第9号現在）の8.74%を占めており、教育費の予算総額は、対前年度比33.7%（令和4年度決算8億9,291万円）、3億73万円の増額となっています。

教育総務課では、令和4年度に「第2次阿久根市学校規模適正化基本方針」の一部を変更し、それに基づき従来の基本方針の基本的な考え方等は維持しつつ、新たな方向性を示した修正案を作成しました。

それを基に、令和5年度に総合教育会議、学校規模適正化協議

会へ諮り、議論を重ね、児童生徒の保護者、未就学児の保護者への説明・意見交換会を開催しました。

今後も、保護者・地域住民への説明・意見交換会を開催して意見等を伺うとともに、関係機関等との検討を重ね、本基本方針案を周知し、理解が得られるよう努めていきます。

学校施設の整備については、平成30年7月に策定した学校施設長寿命化計画の見直しを行い、その計画を基に本年度は阿久根小学校20号棟及び阿久根中学校23号棟の長寿命化改修事業を行う予定でありましたが、諸般の事情により入札不調となり、令和6年度に実施する予定としています。また、国の事業を活用し、屋内運動場落下防止等対策事業を実施し、阿久根小学校及び阿久根中学校の体育館に付属するバスケットゴールの撤去及び補強を実施しました。今後も、計画的に事業を行う予定としています。

その他、樹木の伐採や白蟻駆除、各学校施設の軽微な維持修繕事業などを実施し、児童生徒が安心して安全に学校生活が過ごせるよう環境整備に努めてきました。

また、学校保健特別対策事業補助金を活用し、CO₂測定器を購入し、校内での感染症対策の強化を図りました。

学校教育課では、児童生徒の学力向上をめざし、諸学力調査の結果を分析・検討し、小・中・高学力向上研修会の内容を充実させるとともに、定着が不十分な内容については、管理職研修会等での指導を継続してきました。その結果、年々学力は向上してきています。

また、小学校の外国語教育を進めるための支援として、中学校籍の外国語の専科教員を配置し、小学校の外国語教育の充実に努めました。一方、小学校高学年と中学校で、「こころを紡ぐメッセージコンクール」の募集を行い、表彰するとともに、作品集を作成するなどして、児童生徒と保護者との心の交流を図り、互いの存在について考えを深め合うことにより、豊かな心の育成を図りました。

さらに、教員の業務支援を図り、教員が一層児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備することを目的として、地域の人材を学校に配置するスクール・サポート・スタッフ（SSS）配置事業に取り組み、業務の負担軽減に努めました。

生涯学習課では、市民一人一人が豊かな人生を送ることができるよう、生涯学習の推進や社会教育、自主文化事業に取り組みました。

社会教育事業では、阿久根の自然を活用した体験活動の推進を

目的に実施している「あくねキッズスクール」において、寺島宗則の功績を学び、阿久根大島の自然を満喫したフィールドワーク、野外炊飯活動等を通して郷土を愛する心を育み、仲間との体験活動を充実させることができました。

また、公民館活動においては、ワークショップ型の研修会を開催し、各自治公民館における課題及び改善策について協議を行いました。

自主文化事業では、宝くじ文化公演「歌園迎賓館」を初めとする各種コンサートやシネマパラダイス等を開催し、幅広い年代の方に来場していただきました。

スポーツ推進課では、スポーツの振興や交流人口の拡大のために大規模イベントを実施していますが、令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、前年度に講じていた大会規模の縮小などを撤廃し、ボンタンロードレース大会などのスポーツイベントを通常開催することができました。

また、総合運動公園の施設利用についても、プロバスケットボールチームである「鹿児島レブナイズ」のプレシーズンゲームが総合体育館で開催されたほか、海外勢では本市初となる韓国ソウル市の信一（シンイル）高等学校硬式野球部の合宿受入れなど、市の活性化に寄与しました。

さらに、令和5年度は、燃ゆる感動かごしま国体が、3年の延期を経て「特別国民体育大会」と位置付けられ、このうち、本市では「ボクシング競技会」を開催しました。

大会期間中は、多くの方に来場いただき、情熱や興奮にあふれる声援で会場が沸き立つ中、本県選手が優勝するなど注目を浴び、本市の歴史に刻まれる思い出深い大会となりました。

また、期間中は、彬子女王殿下も観戦され、会場周辺では、多くの市民が殿下の訪問を歓迎しました。

大会では、大きなトラブルもなく、無事に終わることができ、選手・監督や役員、ボランティアをはじめとした、多くの方々の御理解と御協力が大きな原動力となりました。

学校給食センターでは、地産地消の推進及び地元の特産品や産業等について学ぶ「学校給食地産地消推進事業」として、地元産食材を活用した給食を学期毎3回実施しました。また、前年度に引き続き新型コロナ対応地方創生臨時交付金を活用し、給食費（9月～3月までの7か月分の1/2）の補助を行いました。施設等整備については、安全・安心で衛生的な学校給食を提供するため、開設当初から使用している給食配送車4台のうち1台を更新購入し

ました。

【 1 教育委員会の令和5年度活動内容】

(教育委員会機能の充実と活性化)

項 目	内 容	活動指標		成果・課題
1 教育委員会会議の運営改善	・教育委員会定例会及び臨時会の開催	開 催 回 数	13回	阿久根市教育委員会の行政組織等に関する規則に基づき開催(原則毎月10日に定例会、必要に応じ臨時会を開催)し、教育委員会の基本方針を初め、規則・要綱等の制定・改正・予算等についての議案などを審議・議決した。
	・教育委員会会議の運営上の努力			議案等の会議資料を各委員に事前配布をしているが、会議の充実・効率化に向けてさらに努力が必要である。
	・移動教育委員会の開催	開 催 回 数	0 回	保護者・地域住民との話し合いの場として設定していたが、インフルエンザやコロナウイルス感染症の影響で開催できなかった。
2 教育委員会会議の公開、住民への情報発信	・教育委員会会議の傍聴者の状況	傍 聴 者 数	11人	委員会の開催日程は、ホームページで周知している。
	・教育委員会会議記録の公開の状況	情 報 公 開 請 求 件 数	0 件	教育委員会の会議録は記録者が作成し、教育委員の署名により承認している。さらに、会議録は、平成28年度からホームページで公開している。
	・移動教育委員会の状況	開 催 回 数	0 回	保護者・地域住民との話し合いの場として設定していたが、インフルエンザやコロナウイルス感染症拡大の影響で開催できなかった。
3 教育委員と事務局との連携	・教育委員会における情報の共有		定例教育委員会時及び随時	定例教育委員会等において、教育委員の事務執行報告及び事務局の行事等についての報告を行い、情報の共有を図っている。
4 教育委員の研修体制の充実	・研修会等への参加	参 加 回 数	3 回	国・県の研修会への参加に取り組み、教育分野における諸問題を解決できる能力の向上に努めた。

5 学校等の教育 施設の訪問等	・教育委員訪問	訪 問 回 数	5 回	教育委員訪問については5校実施し、学校の運営状況の聴取及び学校施設の視察を行っている。 訪問のない5校については、定例教育委員会後に学校経営説明会を開催し、各校長から説明を受けている。 また、「キャリア教育」研究協力校研究公開が阿久根小学校で開催され、出席している。
	・その他の学校訪問など	訪 問 回 数	随時	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、規制が緩和され、入学式、卒業式、運動会などの学校行事も通常開催に戻ったことから、各学校を訪問している。 また、学校行事以外の中学校英語暗唱弁論大会や二十歳のつどい、国民体育大会や市長旗九州選抜高校駅伝競走大会などのスポーツ、文化や生涯学習分野への参加、また、学校規模適正化協議会の委員として、将来の学校規模の在り方に関し、保護者や地域の代表者と意見を交わすなど、積極的に参加した。

自己（各課）評価基準

評価	評価区分	考え方
A	・計画通り進んでいる ・十分な成果が見える	優れた取組みや状況等が見られ、改善を必要せず、計画通り順調に進んでいる
B	・概ね計画通り進んでいる ・成果が見える	良い取組みや状況が見られ、若干の課題もあるが、概ね計画通りに進んでいる
C	・計画がやや遅れがちである ・成果が見えるが改善が必要	一定の成果が見られるものの、課題も見られ、計画もやや遅れがちである
D	・計画が大幅に遅れている ・抜本的な見直しが必要	課題が多く着手できていないか、着手したが成果が見られず計画も遅れがちである

教育基本計画にかかる各課の事業一覧と自己評価

方向性

1 子供の可能性を伸ばします

〈主体的、相互の学び〉

基本施策

(1) 確かな学力の定着

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
学力実態把握事業	各種学力検査により、児童生徒の学力の実態を把握します。	学校教育課	A	A	A			継続した取組から、各種調査で成果が表れている。
教科・領域等部会研修事業	教科・領域ごとに部会を編成し、それぞれの指導法改善に向けて研修を行います。	学校教育課	B	B	B			概ね計画通り進んでいるが、教科によって改善を図る必要がある。
小・中・高学力向上研修会	小・中学校と鶴翔高等学校が共通のテーマを設定し、研究授業を通して学習指導法の改善に取り組みます。	学校教育課	A	A	A			継続した取組から、各学校における指導が充実し、授業の改善が図られている。
校内研修指導	校内研修に指導主事等を派遣し、学習指導法の改善に向けて指導・助言を行います。	学校教育課	A	A	A			各学校の希望に応じ、計画通り派遣できており、計画以外の訪問も行った。
英語指導法研修会	研究授業を通して、英語の指導法について研修します。	学校教育課	A	A	A			小・中学校で連携し、計画通り実施できた。

土曜授業	指定月の第2土曜日に3時間の授業を実施し、基礎学力等の定着を図ります。	学校教育課	A	A	A			計画通り実施でき、時数を確保できた。
年次別研修の充実	フレッシュ、ステップアップ、パワーアップ研修を支援し、授業研究等を通して指導・助言を行います。	学校教育課	A	A	A			計画通り実施できた。

(2) 特別支援教育の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
特別支援教育支援員配置事業	特別な支援を必要とする通常学級に在籍する児童生徒に対する支援を図ります。	学校教育課	B	A	A			兼務校を継続し、より多くの学校に支援員を配置することで、支援の充実を図ることができた。
就学相談事業	児童生徒の実態に応じた教育支援を行うために、就学相談を行います。	学校教育課	A	A	A			学校や園、保護者の要望に応じて実施できた。
特別支援学校連携事業	特別支援学校と連携を図り、適切な就学のための相談活動を行います。	学校教育課	A	A	A			児童生徒の実態に応じて、計画通り実施できた。
特別支援教育に関する	障害の内容や程度に応じた適切な指導法等に	学校教育課	B	A	A			園や療育機関、各学校から多くの参加が

る 研 修 会	関する研修を行い、教職員の指導力の一層の向上を図ります。							あり、研修や協議内容の充実を図ることができた。
特 別 支 援 教 育 部 会 研 修 会	個別の事例への対応法等に関する研修を行い、特別支援教育担当教員の指導力の一層の向上を図ります。	学 校 教 育 課	B	B	B			特別支援学級の教育課程編成や担当教員の指導力向上に向けて、今後も充実させる必要がある。
市 教 育 支 援 委 員 会	障害又は障害の疑いのある幼児及び児童生徒について、適切な就学相談及び就学判断を行います。	学 校 教 育 課	A	A	A			対象の幼児及び児童生徒に対して、適切に就学相談及び就学判断を行った。

(3) 主体的・対話的で深い学びの実現

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
教科・領域等部会研修事業 (再掲)	教科・領域ごとに部会を編成し、それぞれの指導法改善に向けて研修を行います。	学 校 教 育 課	B	B	B			概ね計画通り進んでいるが、教科によっては会の内容を見直す必要がある。
小・中・高学力向上研修会 (再掲)	小・中学校と鶴翔高等学校が共通のテーマを設定し、研究授業を通して学習指導法の改善に取り組みます。	学 校 教 育 課	A	A	A			三笠中・鶴翔高校・山下小が授業を提供して、研修会を行った。 継続した取組から、「学習者主体の授業」に向けた授業改善と市全体

								の学力向上策の改善が図られている。
校 内 研 修 指 導 (再掲)	校内研修に指導主事等を派遣し、学習指導法の改善に向けて、指導・助言を行います。	学 校 教 育 課	A	A	A			各学校の希望に応じて計画通り派遣し、指導・助言を行った。
英 語 指 導 法 研 修 会 (再掲)	研究授業を通して、英語の指導法について研修します。	学 校 教 育 課	A	A	A			小・中学校ともに、英語指導法研修会を実施し、教員の指導力向上に努めることができた。

〈創造する力の育成〉

基本施策

(1) キャリア教育（あくねよかところ教育）の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
あくね よかところ教育 事業	児童生徒に、進んで地域とつながり、地域のよさを知り、わかったことを発信することを通して、ふるさとへの愛着と誇りを醸成し、自分の将来を切り拓き、自立して生きていく力を育成するためのキャリア教育を推進します。	学 校 教 育 課	A	A	A			前年度までの研究を基に、各学校で、キャリア教育の充実を図ることができた。

(2) ICT環境の整備

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
G I G A ス ク ー ル 事 業	小・中学校の 全児童生徒に配 備した1人1台 の学習用端末等 のICT機器の 効果的な活用に よる教育環境の 向上を図ります。	教 育 総 務課	A	A	B			小・中学校 に 学 校 用 液 晶 デ ィ ス プ レ イ (ス タ ン ド 付 き) 2 台 を 配 備 した。教育環 境 の 向 上 を 図 る こ と が できた。
市 I C T 活 用 研修会	1人1台の端 末を活用した授 業改善の方向性 や、具体的な実 践について説明 する研修会を実 施します。	学 校 教 育課	A	A	B			各 学 校 の 担 当 者 と 連 携 を 図 る こ と が で きた。 今後、新たな 取組については 検証を行い、 実施していく 必要がある。
I C T ソ フ ト 説明会	校務支援ソフ トやプログラミ ング教材の活用 方法に関する研 修会を行います。	学 校 教 育課	A	A	B			計 画 通 り 実 施 で き な か っ た が、校務支援 員 と 協 力 し 具 体 的 な 説 明 を 個 別 に 行 う こ と が でき た。

(3) 豊かな感性や想像力を育む教育の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
市 図 画 作品展	児童生徒の美 術的表現力の向 上に期するた め、図画作品を 募集するととも	学 校 教 育課	A	A	A			計 画 通 り 実 施 した。 県 に 出 品 し た 作 品 に つ い て は、「こころを

	に、審査会を行い、表彰します。							紡ぐメッセージ」の挿絵として活用した。
市作文コンクール	児童生徒の作文力の向上に期するため、作文を募集するとともに、審査会を行い、表彰します。	学校教育課	A	A	A			計画通り実施した。 入賞作品については、作品集「文集あくね」を作成し、掲載した。
市読書感想文コンクール	児童生徒の想像力の育成、表現力の向上に期するため、感想文を募集するとともに、審査会を行い、表彰します。	学校教育課	A	A	A			計画通り実施した。 入賞作品については、作品集「文集あくね」を作成し、掲載した。
市小・中・高合同音楽会	児童生徒の音楽的表現力の向上に期するとともに、専用ホールでの演奏及び鑑賞を体験させるため、音楽会を実施します。	学校教育課	B	—	A			計画通り実施した。 参観者からは、前向きな意見が多く、継続して実施できるようにする。
市小・中学校弁論大会	児童生徒に、自分の考えを多くの人前で発表できる態度や表現力を育成するために弁論大会を実施します。	学校教育課	A	A	A			計画通り実施した。 学校からの観覧できる形で実施できた。

〈学びや成長の連続性〉

基本施策

(1) 幼・保・小連携の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
市教育 支援委 員会	子供一人一人の教育的ニーズに応じた支援を保障するために、乳幼児期を含め早期から教育相談や就学相談を行うとともに、本人・保護者に十分情報を提供し、本人・保護者と学校、教育委員会が教育的ニーズと必要な支援について合意形成を図れるよう、教育支援委員会を実施します。	学 校 教 育課	A	A	A			対象の幼児及び児童生徒に対して、適切に就学に向けた判断をすることができた。
幼・保・ 小 連 絡 会	入学予定の小学校において、子供一人一人が生活の変化に対応し、義務教育及びその後の教育において、実り多い生活や学習を展開できるよう、保育園やこども園と小学校が相互に教育内容を理解したり、子供同士の	学 校 教 育課	B	B	A			昨年度の引継を基に、各園、各小・中学校、高等学校、各事業所の担当者が充実した協議を行い、計画通り実施できた。

	交流を図ったり、指導方法の工夫改善を図ったりなどすることを目的として実施します。							
スタートカリキュラム	小学校へ入学した子供が、幼稚園・保育園・認定こども園などの遊びや生活を通した学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラムを、各小学校において作成するとともに、実際の学校生活で活用します。	学 校 教 育 課	A	A	A			各学校において作成及び見直しを図り、新入生への指導に活用している。

(2) 小中一貫教育の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
小・中一貫教育推進事業	小・中連携の指導体制による小中一貫教育（連携型）の研究校（小2・中1）を指定し、指定校に「小・中一貫教育推進協議会」を設置します。	学 校 教 育 課	B	A	A			小・中一貫教育推進に係る研修会を実施するとともに、共通の学校教育目標、めざす子供像、教師像を設定することができた。

(3) 体力・運動能力の向上

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
体力・運動能力調査事業	体力・運動能力調査の結果をもとに、指導の充実を図ります。	学校教育課	A	A	A			計画通り実施でき、各学校の課題が明確になり、指導に活用することができた。
教科体育の充実と体力づくり活動の推進	「一校一運動」の推進や「体力アップ！チャレンジかごしま」への取組の推進、学校体育の充実のための研修会を開催します。	学校教育課	A	A	A			計画通り実施でき、全学校が「体力アップ！チャレンジかごしま」に取り組むことができた。
小学校陸上記録会	陸上記録会を開催し、記録向上等に向けて、小学校体育の充実を図ります。	学校教育課	A	A	A			これまでの反省を生かし、水泳記録会は今後開催しないことになった。陸上記録会は計画通り実施できた。
武道等地域連携推進事	外部指導者の派遣や研修会への参加を通して、中学校の武道等の安全確保及び指導の充実を図ります。	学校教育課	B	B	B			外部指導者の派遣はなかったが、各学校の担当が研修会に参加した。
競技会等出場補助事業	中学校の県外試合出場等の助成を行います。	学校教育課	A	B	B			令和5年度の文科系部活動については実績がなかった。

〈支え合いの醸成〉

基本施策

(1) 考え・議論する道德教育の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
市道德教育指導法研修会	学校を会場に、各学校の道德教育推進教員及び管理職等を対象に、研究授業を通じた研修を行います。	学校教育課	A	A	A			今年度は、北薩地区道德教育研修会と兼ねる形で、脇本小学校と三笠中学校で実施した。
校内研修会への指導主事等の派遣	校内研修を通して、道德の時間における指導法及び道德教育全般に係る指導・助言を行います。	学校教育課	A	A	A			各学校の要望に応じて計画通り派遣し、適切な指導・助言ができた。
こころを紡ぐメッセージコンクール	児童生徒と保護者との心の交流を図り、互いの存在について、考えを深め合う言葉の作品を募集し、作品集を作ります。	学校教育課	A	A	A			計画通り実施できた。 全学校から619点のメッセージの応募があり、20点の入賞作品を掲載した作品集を作成した。

(2) 人権教育の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
人権教育推進事業	各種研修会への参加及び校内研修の充実を図ります。	学校教育課	B	A	A			研修会への参加については計画通り実施できた。 校内の人権教育に関して

								は、管理職研修会や校内研修を実施し、その重要性について、繰り返し指導を行った。
--	--	--	--	--	--	--	--	---

(3) 体験活動の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
体験活動の推進	食農教育や文化継承活動など、地域に根ざした体験活動を推進します。	学校教育課	B	A	A			各学校が計画通り、実施できた。
集団宿泊学習支援事業	集団宿泊学習への補助を行います。	学校教育課	A	A	A			各学校が工夫した内容で実施した。

方向性

2 魅力ある学校をつくります

〈安心して学べる学校〉

基本施策

(1) 安全・安心な学校づくり

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
学校施設等維持補修事業	校舎等において、老朽化などにより修繕が必要な個所の維持補修を行います。 児童生徒が安全・安心の中で充実した教育活動が行えるよう、施設の維持・修繕に努めます。	教育総務課	B	B	B			校舎等の老朽化により、修繕が必要な個所が増えている。 緊急性を考慮し、優先順位を付け、施設の維持・修繕に努めた。
学校施設等整備事業	学校規模適正化の状況と合わせ、平成30年7月に制定した阿久根市学校施設長寿命化計画に基づき、大規模改修や改築による整備を行います。 また、トイレの洋式化を進めます。	教育総務課	B	B	C			阿久根小学校及び阿久根中学校の長寿命化改修工事を予定していたが、仮設校舎の入札不調により、次年度へ見送ることとなった。 また、トイレの洋式化については、阿久根中学校及び阿久根小学校のトイレ改修を行った。今後

								も、計画に沿って洋式化を進める。
教職員住宅維持管理事業	老朽化した教職員（校長・教頭）住宅の維持修繕等を行います。	教育総務課	B	B	B			老朽化のため、修繕が必要な住宅が増加しているが、概ね修繕し維持することができた。

(2) 生徒指導の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
県スクールカウンセラー配置事業	問題行動、不登校等に適切に対応するために、スクールカウンセラーを配置します。	学校教育課	A	A	A			各学校の要望に応え、適切に配置することができた。
スクールソーシャルワーカー配置事業	関係機関との連携・調整を図り、児童生徒に関する諸問題の解決を図ります。	学校教育課	A	A	A			各学校の要望を受けて派遣を行い、諸問題等を解決できた。
いじめ等相談事業	問題行動・いじめ・不登校等の未然防止、早期発見・指導のため、臨床心理士等による教育相談を実施します。	学校教育課	A	A	A			相談件数は2件であり、SCを派遣することができた。
市中学生会議	各中学校の生徒会を中心に、中学生を取り巻く課題について	学校教育課	A	A	A			計画通り実施でき、諸課題について協議することができた。

	協議する会議を行います。							きた。
カウ ンセ リン グ 研 修 会 （ 隔 年）	カウンセリング技術、日常的な児童生徒への接し方等に関する研修を行います。	学 校 教 育 課	—	—	—			令和5年度の実施はなかった。
生 活 指 導 研 究 協 議 会	児童生徒の健全な成長を図るために、全職員一丸となった指導態勢の確立及び具体的な指導についての研修を行います。	学 校 教 育 課	A	A	A			魅力ある学校づくりへの取組について協議を行った。
い じ め 問 題 対 策 連 絡 協 議 会 い じ め 問 題 対 策 委 員 会	「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止対策について協議等を行います。	学 校 教 育 課	A	A	A			学校の取組や阿久根市いじめ防止基本方針について協議を行い、出された意見を基に、各学校へ指導を行った。
自 立 支 援 教 室 （ あ く ね す ）	不登校の状況にある児童生徒を対象に、相談、学習等を行い、学校復帰への支援を行います。	学 校 教 育 課	A	B	A			2名が通室した。 今後も不登校の児童生徒にあくねすを紹介するよう各学校に指導する。

(3) 良好な人間関係・集団づくり

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
「こころを紡	児童生徒と保護者との心の交	学 校 教 育 課	A	A	A			計画通り実施でき、作品集

ぐメッ セージ」 コンク ール（再 掲）	流を図るとともに、互いの存在について考えを深め合うことにより、豊かな心の育成を図ります。							を作成した。
道徳教 育推進 事業	学校や地域の特色を生かした道徳教育の工夫・改善を図り、学校・家庭・地域が連携・協力し、児童生徒の道徳性の育成に努めます。	学 校 教 育 課	A	A	A			脇本小学校と三笠中学校で、計画通り実施できた。市内全ての学校から参加があった。
市道徳 教育指 導法研 修会（再 掲）	研究授業を通じた研修会を開催し、具体的な道徳授業の指導方法について研修します。	学 校 教 育 課	A	A	A			今年度は、北薩地区道徳教育研修会と兼ねる形で、脇本小学校と三笠中学校で実施した。
県スク ールカ ウンセ ラー配 置事業 （再掲）	スクールカウンセラーを配置し、問題行動、不登校等に適切に対応します	学 校 教 育 課	A	A	A			各学校の要望に応え、適切に配置することができた。
スクー ールソー シャル ワーカー 配置 事業（再 掲）	スクールソーシャルワーカーを配置し、関係機関等との連携・調整を図ります。	学 校 教 育 課	A	A	A			各学校の要望を受けて派遣を行い、諸問題等を解決できた。
いじめ 等相談	問題行動・いじめ・不登校等	学 校 教 育 課	A	A	A			相談件数は2件であり、S

事業（再掲）	の未然防止、早期発見・指導のため、臨床心理士等による教育相談を実施します。							Cを派遣することができた。
--------	---------------------------------------	--	--	--	--	--	--	---------------

〈地域とつながる学校〉

(1) 学校経営の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
校長研修会	年5回、校長を対象にした研修会を実施し、学校経営等に係る指導・助言等を行います。	学校教育課	A	A	A			計画通り年5回実施するとともに、協議の時間を設け、校長の学校経営を充実したものにすることができた。
教頭研修会	年5回、教頭を対象にした研修会を実施し、学校運営等に係る指導・助言等を行います。	学校教育課	A	A	A			計画通り年5回実施するとともに、課題を基に協議や演習を行い、各学校における取組に生かすことができた。
学校訪問 学校経営説明会	教育委員と事務局職員による学校訪問を実施し、学校運営等に係る指導・助言等を行います。 教育委員の訪問を実施しなかった学校については、学校経営	学校教育課	A	A	A			鶴川内小の学校訪問については、諸事情により当初の計画を延期し、11月に実施した。全ての学校に対して、学校運営に係る指導・助言を行うことができた。

	説明会を実施し、校長が教育委員に学校の状況等の説明を行います。							
--	---------------------------------	--	--	--	--	--	--	--

(2) 学校運営協議会の設置・推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
学 校 運 営 協 議 会	本年度の年間計画、活動等を確認するとともに、各学期の活動等についての話し合いを行います。 各学期の評価・反省を行うとともに、次年度の教育課程、教育活動等について確認します。	学 校 教 育 課	A	A	A			全ての学校が学校運営協議会を設置するとともに、学校運営の充実をめざした協議を行うことができた。

(3) 開かれた学校づくり

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
学 校 運 営 協 議 会	地域住民による学校訪問や授業参観の機会を増やすとともに、学校教育活動への評価・提言を行う学校運営協議会を計画的に実施します。	学 校 教 育 課	A	A	A			全ての学校が学校運営協議会を設置するとともに、学校運営の充実をめざした協議を行うことができた。

「信頼される学校づくりのための委員会」事業	教職員のモラルや規範意識の向上のための「信頼される学校づくりのための委員会」を、年間3回開催します。	学校教育課	A	A	A			年5回の学校運営協議会において、服務規律の厳正確保に向けた各学校の取組を公表した。
-----------------------	--	-------	---	---	---	--	--	---

〈いきいきと働く教職員〉

(1) 教職員の働き方改革の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
特定事業主行動計画	仕事と家庭の両立及びワーク・ライフ・バランスの実現等を支援するために策定し、次世代育成支援対策を推進します。	学校教育課	A	A	A			出産補助休暇や育児休暇等を取得しやすい環境づくりに努めた。
校務支援	新学習指導要領の全面実施に係り、ICT教育を進めるための整備、校務支援システムの構築を図ります。	教育総務課 学校教育課	A	A	A			通知表や指導要録の作成において、校務支援システムを活用した。 2つが連動することにより、大幅な業務改善に寄与している。また、校務支援システムについては、構築できた。
働き方改革に関する	意識啓発のために、各学校における取組を共	学校教育課	A	A	A			学校の意識改革が推進され、市全体の教

意識改革	有する場を設けるとともに、各学校への具体の働き掛けを推進します。							頭の業務時間は年々減っている。
スクール・サポート・スタッフ（SSS）配置事業	教職員の業務支援を図り、教職員が一層児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備することを目的に、多様な地域人材を活用する取組を実施します。	学校教育課	A	A	A			県の補助を受け、阿久根小学校に1名を配置した。職員の業務を軽減することができた。

(2) 学校の業務改善の支援

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
小・中学校における業務改善方針	教職員の業務の総量の削減を図り、質の高い教育の維持・発展を図るため、「小・中学校における業務改善方針」を踏まえ、実行可能な取組を速やかに実施します。	学校教育課	A	A	A			校務支援システムの導入により、教頭の超過勤務時間を軽減することができた。また、質の高い教育の維持・発展のため、授業の在り方等について継続して指導した。
リフレッシュウィーク	毎年8月11日から17日の期間をリフレッシュウィークと設定します。こ	学校教育課	A	A	A			期間中に行事等を設定せず、計画通りに実施することができた。

	の期間は、学校行事等を実施しないこととし、休暇を取得しやすい環境をつくれます。							
夏 季 休 業 日 の 学 校 閉 庁 日	毎年8月13日から15日の期間を学校閉庁日と設定します。この期間は、特に勤務を必要としないこととし、休暇を取得しやすい環境をつくれます。	学 校 教 育 課	A	A	A			計画通り実施した。各学校において休暇を取得しやすい環境を整備した。
部 活 動 休業日	中学校は、週2日（平日1日及び週休日1日）の部活動の休業日を設定します。	学 校 教 育 課	A	A	A			各学校の部活動ガイドラインに沿って適切に実施された。

(3) チーム体制の構築

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
教 職 員 の 人 事 評 価 制 度 の 積 極 的 活 用	管理職の日々の授業参観等に基づいた職員指導と評価の在り方について指導助言を行い、教職員の一層の資質向上が図れるよう、教職員の人事評価制度を積極的に推進します。	学 校 教 育 課	A	A	A			管理職研修会において、職員の人事評価やその後のフィードバックについて研修した。各学校において、人事評価が適切に実施された。

小学校 高学年 における一部 教科担任制の 導入	小学校において、学年が上がるにつれて学校に困り感を抱く児童が増える教科において、専科教員が教える教科担任制に取り組みます。	学校教育課	B	B	A			脇本小を中心校として積極的に取り組むことができた。SET 加配を活用した外国語の指導や理科、音楽専科の活用を図った。
スクール・サポート・スタッフ（SSS）配置事業（再掲）	主として教員の業務支援を図り、教員が一層児童への指導や教材研究等に注力できる体制を整備することを目的に、多様な地域人材を活用する取組を実施します。	学校教育課	A	A	A			県の補助を受け、阿久根小学校に1名を配置した。職員の業務を軽減することができた。

<学び続ける教職員>

(1) 教職員の資質の向上

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
校長研修会 (再掲)	年5回、研修会を実施し、学校経営等に係る指導・助言等を行います。	学校教育課	A	A	A			計画通り年5回実施するとともに、協議の時間を設け、校長の学校経営を充実したものにすることができた。
教頭研修会 (再掲)	年5回、研修会を実施し、学校運営等に係る指導・助言等を行います。	学校教育課	A	A	A			計画通り年5回実施するとともに、課題を基に協議や演習を行い、各学校における取組に生かす

								ことができた。
校内研修会への指導主事等の派遣 (再掲)	校内研修に指導主事等を派遣し、学習指導法の改善に向けて指導・助言を行います。	学校教育課	A	A	A			計画通り実施できた。 係長を含む指導主事3名で、年間99回の指導・助言を行い、本市における学力向上の取組を平準化することができた。
教職員の人事評価制度の積極的活用 (再掲)	管理職の日々の授業参観等に基づいた職員指導と評価の在り方について指導・助言を行い、教職員の一層の資質向上が図れるよう、教職員の人事評価制度を積極的に推進します。	学校教育課	A	A	A			管理職研修会において、職員の人事評価やその後のフィードバックについて研修した。各学校において、人事評価が適切に実施された。
市指定研究協力校制度 (再掲)	市の研究協力校として学校を指定し、研修支援を行い、研究成果を他校へも還元します。	学校教育課	A	A	A			令和4年度から地区の研究指定を受けた阿久根小が、学力向上の研究公開を行った。
年次別研修 (再掲)	フレッシュ、ステップアップ、パワーアップ研修を支援し、授業研修等を通して指導・	学校教育課	A	A	A			計画通り実施するとともに、指導法改善及び職員の資質向上を図ることができた。

	助言を行います。							
臨時的任用教員等研修	臨時的任用教員等を対象とした研修会を実施し、教職員としての資質向上と授業力の向上を図ります。	学校教育課	A	A	A			対象枠を拡大し、参加者同士で協議を行う時間を増やしたことで、充実した研修内容にすることができた。
「かごしま教員育成指標」の積極的活用	教職員が効果的・継続的に研修に取り組み、キャリアアップを図ることができるよう、県が作成した教員育成指標を積極的に活用します。	学校教育課	A	A	A			管理職研修会において説明するとともに、各学校において教員育成指標を基にした活用が図られた。令和6年度から、新しいツールを活用して体系的に取り組む。
「信頼される学校づくりのための委員会」事業（再掲）	教職員のモラルや規範意識の向上のための委員会（学校運営協議会）を年間3回開催します。	学校教育課	A	A	A			年5回の学校運営協議会において、服務規律の厳正確保に向けた各学校の取組を公表した。

(2) 学び続ける教職員の環境づくり

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
学び続ける教職員の	教職員が効果的・継続的に研修に取り組み、	学校教育課	A	A	A			管理職研修会において、説明するとともに

支援	キャリアアップを図ることができるよう、県が作成した教員育成指標を積極的に活用します。							に、各学校において教員育成指標を基にした活用が図られた。
臨時的任用教員等研修（再掲）	臨時的任用教員等を対象とした研修会を実施し、教職員としての資質向上と授業力の向上を図ります。	学 校 教 育 課	A	A	A			対象枠を拡大し、参加者同士で協議を行う時間を増やしたことで、充実した研修内容にすることができた。
校内研修会への指導主事等の派遣（再掲）	校内研修に指導主事等を派遣し、学習指導法の改善に向けて指導・助言を行います。	学 校 教 育 課	A	A	A			計画通り実施できた。 係長を含む指導主事3名で、年間99回の指導・助言を行い、本市における学力向上の取組を平準化することができた。
市指定研究協力校制度（再掲）	市の研究協力校として学校を指定し、研修支援を行い、研究成果を他校へ還元します。	学 校 教 育 課	A	A	A			地区の研究指定協力校として、阿久根小が学力向上の研究公開を行った。
年次別研修（再掲）	フレッシュ、ステップアップ、パワーアップ研修を支援し、授業研修等を通して指導・助言を行います。	学 校 教 育 課	A	A	A			計画通り実施するとともに、指導法改善及び職員の資質向上を図ることができた。

	す。							
--	----	--	--	--	--	--	--	--

(3) 社会の変化に対応した人材の育成の強化

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
情報教育のサポート	パソコンやインターネット、書画カメラ等の情報機器の学習指導への活用について指導・助言を行います。	学校教育課	A	A	A			校内ICT研修会及び研究授業等での指導助言を行い、日々の訪問において実施できた。
プログラミング教育	各学校において、プログラミングを体験しながらコンピュータに意図した処理を行わせる等、論理的思考力を身に付けるための学習活動を推進します。	学校教育課	A	A	A			各小学校に年間5回教材を貸し出し、計画的に活用するとともに、ビジュアルプログラミング教材の研修を行った。
環境教育	各学校や地域の実態に応じた環境教育を推進します。	学校教育課	A	A	A			脇本小学校のウミガメ保全など、各学校で体験活動を通じた環境教育を行った。
福祉・ボランティア活動	発達段階を踏まえた「福祉の心」を育てる教育の推進を図ります。	学校教育課	B	A	B			各学校において適切に実施した。 見届け等による評価に課題がある。
消費者教育・租税教育・金融教育	金銭・金融感覚をもった児童生徒の育成を図る教育を推進し	学校教育課	A	A	A			教育課程に位置付け、教科の内容として各学校が実施

育	ます。							するよう指導 した。
---	-----	--	--	--	--	--	--	---------------

方向性

3 教育環境の充実を図ります

〈家庭教育の支援〉

基本施策

(1) 家庭の教育力の向上と家庭への支援

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
就学援助費支給事業	経済的な理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に、就学援助費を支給します。	教育総務課	A	A	A			国の事業を活用し、給食費の半額補助を実施した。また、就学援助費を支給することで、保護者の経済的負担の軽減が図られた。
特別支援教育就学奨励費支給事業	特別支援学級に就学している児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、就学奨励費を支給します。	教育総務課	A	A	A			国の事業を活用し、給食費の半額補助を実施した。また、特別支援教育就学奨励費を支給することで、保護者の経済的負担の軽減が図られた。
奨学金貸付事業	経済的な理由により、大学などへの就（修）学が困難な学生に対し、奨学金を支給します。	教育総務課	A	A	A			奨学金を貸し付け、就学が困難な学生への経済的負担の軽減が図られた。 また、規則を改正し、制度の柔軟性を図る

								とともに、給付型奨学金を創設した民間企業と連携協定を締結し、就(修)学支援の拡充を図ることができた。
濱 風 ゆめみらい奨学金貸付事業	医学を学ぶ者及び外国の大学等に留学する者に対し、奨学金を支給します。	教 育 総務課	C	C	A			医者をめざす2名を採用し、奨学金の受給を開始した。 また、規則を改正し、制度の柔軟性を図るとともに、給付型奨学金を創設した民間企業と連携協定を締結し、就(修)学支援の拡充を図ることができた。
家 庭 教 育 支 援 事 業	関係団体との連携や家庭教育学級の開設により、家庭教育力の向上を図ります。	生 涯 学 習 課	B	A	A			市P連・市子連の合同研修会における講演会を実施した。母親委員会においては、テーマを設定し学び合う場を設定した。 家庭教育学級で講師として参加し、家庭教育力の向上を図った。

学 習 サ ポ ー ト 教室	経済的な理由 などにより、学 習環境面で悩み を抱えている世 帯の子供を対象 に「学習サポー ト教室」を開催 します。	福祉課	B	C	B			貧困世帯を 対象とした事 業であるため、 募集について は配慮しなが ら周知を行っ た。 前年度は中 学生において 講師と生徒の 部活動の時間 の都合が合わ ず、利用者が減 少したため、対 象者を小学生 に絞った結果、 利用者数は減 少した。 そのような 状況ではあっ たが、昨年度と 同程度の日数 の開催を行い、 基礎学力の向 上や学習習慣 の形成を図る ことができた。
----------------------	--	-----	---	---	---	--	--	---

(2) 幼児教育の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
市 教 育 支 援 委 員 会	就学前の子供 について、幼児 教育から小学校 の円滑な接続を 図ります。	学 校 教 育 課 福祉課 健 康 増 進 課	A	A	A			対象の幼児 及び児童生徒 に対して、適切 に就学に向けた 判断をすること ができた。

地 域 子 育 て 支 援事業	子育て親子の 交流を促進し、 子育ての不安等 を緩和するとと もに、子供の育 ちを支援しま す。	福祉課	A	A	A			感 染 防 止 策 を講じながら、 子育て支援セ ンターを2か 所で実施し、育 児不安を抱え る保護者への 相談支援等 を実施した。
保 育 園 等 整 備 事業	保育環境の改 善のため、園舎 の老朽化等によ る整備事業に補 助します。	福祉課	—	—	—			事業実績は なかった。

(3) 健康教育・食育の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
健 康 教 育 推 進 事業	各種健康診断 を実施するとと もに、市学校保 健会や関係機関 と連携して、保 健教育の充実を 図ります。	学 校 教 育課	A	A	A			市学校保健 会や関係機関 と連携して、計 画通り実施す ることができ た。
定 期 健 康診断	定期健康診断 の結果を基に、 疾病の治癒等を 推進します。	学 校 教 育課	A	A	A			診断結果を 基に、各学校に 疾病の治癒等 について指導 するとともに、 再受診につい て確認をした。
栄 養 教 諭 の 派 遣・活用	各小・中学校 に栄養教諭を派 遣し、食事の重 要性、心身の健 康、食品を選択 する能力、感謝	学 校 教 育課 学 校 給 食 セ ン ター	B	B	A			各学校に対 して、年通算55 回、栄養教諭の 派遣を実施し た。

	の心、社会性、食文化等の指導に取り組みます。 また、食中毒やアレルギーの防止に関する指導等を行います。							
食に関する指導	栄養教諭を各学校に派遣し、食事の重要性、心身の健康、食品を選択する能力、感謝の心、社会性、食文化等の指導に取り組みます。 各小・中学校に対して、食中毒やアレルギーの防止に関する指導等を行います。	学 校 教 育 課 学 校 給 食 セ ン タ ー	B	B	A			各 学 校 に 対 して 年 通 算 55 回、栄養教諭を派遣し、「食に関する指導」の授業を行った。
給食センター備品等購入事業	老朽化した厨房用備品等については取り替え、学校給食の提供に必要な備品等の適切な管理を行います。	学 校 給 食 セ ン タ ー	B	B	B			予算化された給食配送車、球根皮剥機については、計画通り、購入することができた。 連続炊飯器修理等についても部分的な修繕を行い、給食の提供に支障をきたさないよう適切な管理を行った。

学 校 給 食 地 産 地 消 推 進事業	地元産の食材や加工品を学校給食に取り入れ、阿久根の食の魅力を児童生徒に伝えます。 学期毎に阿久根産の食材を活用した給食を提供することにより、地産地消や地元産の食材等への関心を深め、食文化、地元特産品及び地域の産業について学ぶ食育を推進します。	学 校 給 食 セ ン ター	B	B	B			学期毎に地元産食材を使用した給食を提供することができ、地産地消や地元産の食材等への関心を深めることができた。献立については、恒常化しているため、使用する食材の検討を行い、地元食材の安定した調達ができるよう、関係機関とも更なる連携を図っていききたい。
--------------------------------	---	----------------------	---	---	---	--	--	---

〈安全・安心な環境〉

(1) 学校規模の適正化の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
学 校 規 模 適 正 化事業	児童生徒に等しく良好な教育環境の向上をめざし、学校規模の適正化を進めます。	教 育 総 務課	C	C	B			基本方針の基本的な考え方等は維持しつつ、統・廃合の目標年度等を改めたものについて、総合教育会議、学校規模適正化協議会で協議し、児童生徒の保護者・未就学児の保護者を対

								象とした説明・意見交換会を開催した。今後も引き続き、保護者・地域住民との説明・意見交換会を重ね、内容の浸透、理解の促進に努めていきたい。
--	--	--	--	--	--	--	--	--

(2) 児童生徒の安全確保

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
ス ク ー ル ガ ー ド ・ リ ー ダ ー 配 置 事 業	児童生徒の安全確保のため、スクールガード・リーダーを活用するとともに、スクールガードの育成を図ります。	学 校 教 育 課	A	A	A			各小学校区に適切に配置し、計画通り実施することができた。
市 安 全 指 導 法 研 修 会	地震、津波等の非常災害時の危機管理、不審者事案に対する対応、安全に関する取組の充実を図るため、研修会を実施します。	学 校 教 育 課	B	A	A			計画通り実施でき、各学校の安全点検表の見直しについて充実した協議を行うことができた。
市 水 難 事 故 ・ 交 通 事 故 防 止 対 策 連 絡 会	水難事故の防止及び交通安全教室によるヘルメット着用の徹底と地域ぐるみの交通事故0運動の実践に努め	学 校 教 育 課	B	A	A			計画通り実施でき、関係機関と学校が意見を交換できた。

	ます。							
--	-----	--	--	--	--	--	--	--

(3) 良好な教育環境の整備

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
学 校 施 設 等 維 持 補 修 事業 (再掲)	校舎等において、老朽化などにより修繕が必要な個所の維持補修を行います。 児童・生徒が安全・安心の中で充実した教育活動が行えるよう、施設の維持・修繕に努めます。	教 育 総 務課	B	B	B			校舎等の老朽化により、修繕が必要な個所が増えている。 緊急性を考慮し、優先順位を付け、施設の維持・修繕に努めた。
学 校 施 設 等 整 備 事 業 (再掲)	学校規模適正化の状況と合わせ、平成30年7月に制定した阿久根市学校施設長寿命化計画に基づき、大規模改修や改築による整備を行います。 また、トイレの洋式化を進めます。	教 育 総 務課	B	B	C			阿久根小学校及び阿久根中学校の長寿命化改修工事を予定していたが、仮設校舎の入札不調により、次年度へ見送ることとなった。 また、トイレの洋式化については、阿久根中学校及び阿久根小学校のトイレ改修を行った。今後も計画に沿って洋式化を進めていきたい。

教職員住宅維持管理事業（再掲）	老朽化した校長・教頭住宅の維持補修を行います。	教育総務課	B	B	B			老朽化のため、修繕が必要な住宅が増加しているが、概ね修繕し維持することができた。
-----------------	-------------------------	-------	---	---	---	--	--	--

〈市民の豊かな学び〉

(1) 生涯学習の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
生涯学習推進事業	生涯学習講座や社会教育学級を開設し、市民の学習環境の充実と生きがいに努めます。	生涯学習課	A	A	A			生涯学習講座 21 講座を開設（新規講座 4）し、学べる場や活動内容を工夫した。
生涯学習フェア	生涯学習活動の発表等を通して、生きがいのある住みよいまちづくりに取り組みます。	生涯学習課	C	B	B			生涯学習講座生の素晴らしい発表と、工夫された作品を展示することができた。
各種研修会支援事業	各種研修会を開催し、お互いに支え合う地域づくりに対する意識の高揚を図ります。	生涯学習課	B	B	B			子ども会、育成会、PTA、公民館長、女性団体など、各種団体の研修会開催を支援するとともに、各種研修会への参加支援もできた。
社会教育関係団体指導	社会教育関係団体の指導者を養成し、各団体	生涯学習課	B	B	A			地区社会教育団体指導者養成事業の運

導 者 養 成事業	の活動の充実と 活性化を図ります。							営や地区で開 催されている 各種社会教育 関係団体指導 者養成事業へ の参加を奨励 し、指導者養成 を図った。
地 域 学 校 協 働 活 動 推 進事業	学びの成果を 学校支援活動に 生かすことので きる態勢づくり を進めます。	生 涯 学 習課	B	B	B			全小・中学校 で、地域の方々 による学校教育 活動の支援 を行うことが できた。支援ボ ランティアの 確保が課題で ある。
家 庭 教 育 支 援 事業（再 掲）	関係団体との 連携や家庭教育 学級の開設によ り、家庭教育力 の向上を図ります。	生 涯 学 習課	B	A	A			地区 P T A 養成事業や市 P連・市子連合 同研修会の講 演会において 研修を深め、家 庭教育の学び を深めた。 全小・中学校 で家庭教育学 級を開設し、家 庭教育力向上 を図った。
「 青 少 年 育 成 の日」の 啓 発 普 及事業	親子で地域活 動に積極的に参 加するよう広 報・啓発活動に 努めます。	生 涯 学 習課	B	B	A			市子連フェ スタ等の子ども 会行事など ホームページ や防災無線等 により啓発を 図った。親子で 参加できるよ

								うな内容を工夫し、参加者も増えた。
「家庭の日」の啓発普及事業	家族のふれあう機会を増やしてもらえるよう広報・啓発活動に努めます。	生涯学習課	C	B	B			市の広報誌や各会合、各研修会で広報・啓発活動を実施しているが、更に普及活動に取り組む必要がある。
成人教育推進事業	成人の学習機会を拡充し、成人の生きがいに努めます。	生涯学習課	A	A	A			生涯学習講座や各種学級を開設し、学習機会の提供を行い、市民の生きがいに努めることができた。
高齢者教育推進事業	高齢者を対象とした学級を開設し、高齢者の生きがいに努めます。	生涯学習課	B	B	B			高齢者学級20学級のうち、14学級を開設。生涯学習フェアにも複数の学級より展示作品の協力があった。
人権教育推進事業	同和問題をはじめとする人権課題解決のための学習機会の確保や広報等の工夫に取り組み、差別のない社会をめざします。	生涯学習課	B	B	A			高齢者学級や家庭教育学級において、講師として参加し、人権教育講話を行い、偏見と差別をなくす取組を行った。今後は、広報や啓発資料を充実させる

								必要がある。
--	--	--	--	--	--	--	--	--------

(2) 子供の読書活動の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
市立図書館等 管理運営委託 事業	市立図書館の 管理運営を指定 管理者に委託 し、利便性の向 上と読書活動の 活性化を図りま す。	生涯学習 課	A	A	A			特定非営利 法人ふれでお と指定管理契 約を締結し、読 書活動推進向 上のため、連携 して図書館運 営を行った。

(3) 文化財の保護・活用

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
郷土芸 能育成 事業	郷土芸能の保 存及び伝承を図 るために、保存 会等への補助を 行います。	生涯学 習課	A	A	A			活動実績の ある6つの保 存団体等へ運 営補助を実施 した。
文化財 案内板 等の整 備事業	市内の文化財 及び史跡につい て案内板等を計 画的に整備しま す。	生涯学 習課	B	B	B			市内3箇所 の案内板等の 修繕を行い、2 箇所の説明板 設置を行った。 全ての文化 財案内板等の 修繕について、 優先順位を定 め、修繕等を行 う必要がある。
ガイド ブック 等作成 事業	文化財や史 跡、郷土芸能等 をガイドブック にまとめ、市内 外へ広報しま	生涯学 習課	B	A	A			令和4年度 に内容を加筆 した最新版800 部を市校長・教 頭会や文化財

	す。							保護審議会で配布した。一般向けにも、風テラスロビー及び図書館でも配布を行っている。
郷土資料館管理運営委託事業	市郷土資料館の管理運営を指定管理業者に委託し、資料の適切な保存と管理を行います。	生涯学習課	B	B	A			指定管理者である「ぷれでお」において、資料の適切な保存と管理が実施できた。

〈スポーツ・文化の振興〉

(1) スポーツの推進・充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
健康づくり事業	健康教室等を開催し、市民の健康づくりを支援します。	スポーツ推進課	A	A	A			特別国民体育大会などの行事開催期間との重複をさけ、年間計画の3講座を開催した。また、コロナ前のような参加しやすい雰囲気となった。
スポーツ大会推進事業	市民参加のスポーツ大会の開催のほか、各種スポーツ大会の後援を行います。	スポーツ推進課	C	B	B			区対抗ミニバレーボール大会は3年ぶりに実施し、また、校区体協対抗バレーボール大会は例年並みの参加を得られた。

ス ポ ー ツ 指 導 者 育 成 事 業	スタートコーチ養成講習会の開催による指導者育成と資質の向上を図ります。	ス ポ ー ツ 推 進 課	B	B	B			スタートコーチ養成講習会が開催され、近隣会場に参加することができた。
ス ポ ー ツ 少 年 団 活 動 支 援 事 業	スポーツ少年団の団員確保と活動支援を行うとともに、少年団交歓大会の開催などによる交流を促進します。	ス ポ ー ツ 推 進 課	C	B	B			少子化の影響で登録人数が減ったものの、昨年に引き続きに交歓大会を開催した。 また、内容も見直し、交流しやすい項目を加えた。
競 技 会 等 参 加 費 補 助 事 業	全国大会及び九州大会等への参加経費を補助し、競技力の向上を図ります。	ス ポ ー ツ 推 進 課	C	A	A			申請団体は最も多かった昨年には及ばなかったものの、国体入賞者もあり、競技力向上の一役を担った。
ニ ュ ー ス ポ ー ツ 普 及 事 業 (地 域 づ く り 事 業)	ニュースポーツの講習会による指導者の育成と普及を図るとともに、地域におけるスポーツの活性化を図ります。	ス ポ ー ツ 推 進 課	A	A	B			グラウンドゴルフやボッチャ等を地域や学校に貸出し、活性化を図った。
コ ミ ュ ニ テ ィ ス ポ ー ツ ク ラ ブ 設 置 促 進 事	様々なスポーツの体験ができるコミュニティスポーツクラブの設置を促進します。	ス ポ ー ツ 推 進 課	C	D	A			本市では初めてとなる総合型スポーツクラブも誕生したため、今後は様々な事業

業								を展開していきたい。
チャレンジアップスイミング教室	水泳の苦手な小学生を対象にした水泳教室を開催します。	スポーツ推進課	D	B	B			募集の対象はコロナ前に戻し、計画通り実施できた。
海の子カーニバル	たくましい青少年の育成を目的に、主にチャレンジアップスイミング教室受講生を対象とした遠泳を実施します。	スポーツ推進課	D	B	A			国体の遠泳として実施した。 天気にも恵まれ、4年ぶりに事業を実施できた。
海洋性スポーツ普及事業	本市の特性を生かしたカヌーの体験教室等を開催し、海洋性スポーツの普及と青少年の健全育成をめざします。	スポーツ推進課	B	D	B			キッズスクールでは、カヌー教室を実施できなかったが、「遠泳」等でカヌー体験が実施できた。
海洋性スポーツ指導者育成	センターインストラクター研修会へ職員を派遣します。	スポーツ推進課	D	D	D			今後、資格を有する職員の確保が課題である。

(2) 体育施設の整備と活用

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
総合運動公園施設整備事業	総合運動公園内の体育施設等の整備、改修等を行います。	スポーツ推進課	C	C	B			長寿命化計画に基づき、補助事業を活用しながら、多目的雨天屋内運動場の改修を行った。

海 洋 セ ン タ ー 施 設 整 備 事業	B & G海洋セ ンターの各施設 の改修等を行いま す。	ス ポ ー ツ 推 進 課	C	C	C			今後、計画的 に施設の改修 を行う予定で ある。
ス ポ ー ツ イ ベ ン ト 推 進 事業	あくねボンタ ンロードレース 大会及び九州選 抜高等学校駅伝 競走大会を継続 して開催するほ か、交流人口の 拡大に資するス ポーツイベント を検討します。	ス ポ ー ツ 推 進 課	D	A	A			ボンタンロ ードレース大 会や高校駅伝 は5年ぶりに 同時に開催で き、地域の活性 化、交流人口拡 大に寄与でき た。
ス ポ ー ツ 合 宿 誘 致 推 進 事業	合宿誘致を推 進し、施設の有 効活用を図ると ともに、地域経 済の活性化に努 めます。	ス ポ ー ツ 推 進 課	B	B	B			例年、受け入 れていた大学 野球部の利用 はなかったが、 本市では初と なる海外から の韓国高校野 球部が合宿し、 冬季における 施設の活用が 向上した。
特 別 国 民 体 育 大 会 推 進 事業	2023年開 催の国体に向け た準備を行うと ともに、正式競 技のボクシン競 技、デモンスト レーションスポ ーツを開催しま す。	ス ポ ー ツ 推 進 課	C	C	A			51年ぶりと なるかごしま 国体は、多くの 方々の御協力 により、無事に 開催でき、思い 出に残る大会 となった。

(3) 文化・芸術活動の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
市総合文化祭	学習機会の発表の場である市総合文化祭を開催します。	生涯学習課	A	A	A			展示及び演芸の両部門を開催した。 本年度は、例年通り2日間開催した。 展示団体は、前年度と同数の34団体、演芸団体は9団体増加し36団体であった。
自主文化事業	市民ニーズに対応した音楽コンサート及び演芸会等を定期的に開催します。	生涯学習課	B	B	B			ロビーコンサートや映画上映等の16事業を行った。 事業の内容により、集客に差があった。
文化・芸術鑑賞事業	青少年のための芸術鑑賞事業の実施や社会教育関係団体等の鑑賞活動等の支援を行います。	生涯学習課	A	A	A			自主文化事業や青少年劇場、巡回公演事業などを実施し、児童生徒の芸術鑑賞の機会の充実を図った。
あくね洋画展開催事業	文化・芸術レベルの向上と市民意識の高揚を図ることを目的に継続して開催します。	生涯学習課	A	A	A			1,702名の来場者があり、一般・高校生の部は前年度から6品増加し206点出品され、作品レベルの向上も見られた。ジ

								ユニアの部については前年度より 65 点出展が少なく 1,152 点だったため、募集にも力を入れ、洋画展の充実に努めていきたい。
市立図書館等整備事業	市民のニーズに対応できる情報拠点としての役割を発揮できるよう、施設整備について検討を重ねます。	生涯学習課	D	C	B			実施設計の設計変更や市有林の活用について、関係機関と協議を行った。
合宿等誘致推進補助事業	文化活動を行う団体が市内で合宿等を行う費用を補助します。	生涯学習課	C	C	C			今年度は、補助金の申請がなかった。

方向性

4 社会全体で子供を育てます

〈地域とともに歩む学校〉

基本施策

(1) 地域の拠点としての学校づくり

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
『地域が育む「かごしまの教育」県民週間』	現在実施している授業参観等、保護者・地域住民への学校開放に関わる行事等を、可能な限り、この期間に実施します。	学校教育課	A	A	A			適切な広報を行うとともに、各学校においては、特色ある学校行事を実施した。
学校運営協議会 (再掲)	本年度の年間計画、活動等を確認するとともに、各学期の活動についての話し合いを行います。 各学期の評価・反省を行うとともに、次年度の教育課程、教育活動等について確認します。	学校教育課	A	A	A			全ての学校が学校運営協議会を設置した。学校運営の充実をめざした協議を行うことができた。
学校施設等維持補修事業 (再掲)	校舎等において、老朽化などにより修繕が必要な個所の維持補修を行います。 児童生徒が安全・安心の中で	教育総務課	B	B	B			校舎等の老朽化により、修繕が必要な個所が増えており、緊急性を考慮し、優先順位を付け、施設の維持・修繕に努

	充実した教育活動が行えるよう、施設の維持・修繕に努めます。							めた。
学 校 施 設 等 整 備 事 業 (再掲)	学校規模適正化の状況と合わせ、平成30年7月に制定した阿久根市学校施設長寿命化計画に基づき、大規模改修や改築による整備を行います。 また、トイレの洋式化を進めます。	教 育 総 務 課	B	B	C			阿久根小学校及び阿久根中学校の長寿命化改修工事を予定していたが、仮設校舎の入札不調により、次年度へ見送ることとなった。 また、トイレの洋式化については、阿久根中学校及び阿久根小学校のトイレ改修を行った。今後も計画に沿って洋式化を進める。

(2) 青年活動の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
少 年 団 体 活 動 支 援 事 業	ボランティア活動や研修等を通して、子ども会活動の充実やジュニアリーダーの育成を図ります。	生 涯 学 習 課	B	A	A			子ども会長による研修会、ジュニア・リーダーによる発表の場の設定や市子連フェスタによる体験教室の充実をはじめ、県少年

								自然の家における研修会の実施やボランティア等を通じてジュニアリーダーの育成に努めた。
体験活動推進事業	あくねキッズスクール等、阿久根の自然を生かした体験活動を実施し、たくましい青少年の育成を図ります。	生涯学習課	B	B	A			寺島宗則の功績を学ぶ場、阿久根大島のフィールドワーク等を通じた郷土に親しむ内容で実施し、主体的な体験活動になるように実施できた。

(3) 学校施設の有効活用

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
学校施設開放事業	体育館等を開放することにより、住民の健康づくりと社会体育の普及に努めます。	スポーツ推進課 教育総務課	B	B	B			新型コロナウイルス感染症が、感染症法上の5類に移行したことに伴い、学校開放については、利用団体が増加し、社会体育の普及が図られた。
福祉部局との連携	定期的に放課後対策等について、教育委員会と福祉部局で協議の機会を設定	教育総務課 学校教育課 福祉課	A	A	B			放課後対策で開放している学校施設への状況把握や問題は、福祉部

	するとともに、実施状況や問題などを常に共有し、事業検証や問題解決に対応します。							局と連携を図り、問題解決に概ね対応できた。
--	---	--	--	--	--	--	--	-----------------------

〈地域全体での見守り〉

(1) 地域で見守る環境づくり

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
青少年健全育成事業	市青少年問題協議会や校外生活指導連絡会を開催し、関係機関・団体と連携を図りながら、青少年の健全育成に努めます。	生涯学習課	B	B	A			警察や学校及びPTAと連携して、長期休業中や花火大会における街頭補導など防犯活動を展開した。また、各小・中学校の終業式に合わせ、下校時における見守り活動も実施した。

(2) 子供を見守るネットワークの構築

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
スクールガード・リーダー配置事業（再掲）	学校や通学路における安全を確保するために、警察官OBや防犯の専門家等をスクールガード・リーダーとして委嘱するとともに、各小・小学校区を巡回指	学校教育課	A	A	A			各小学校に適切に配置し、計画通り実施することができた。

	導します。							
市水難事故防止対策連絡会	海、堤防、河川、河口付近、湖沼、池、側溝、港、その他遊泳禁止区域における児童生徒の事故を防止するため、現地視察を行い、水難事故防止対策を徹底します。	学校教育課	B	A	A			各学校と関係機関による積極的な意見交換を行うことができた。
青少年健全育成事業（再掲）	市青少年問題協議会や校外生活指導連絡会を開催し、関係機関・団体と連携を図りながら、青少年の健全育成に努めます。	生涯学習課	B	B	A			警察や学校及びPTAと連携して、長期休業中や花火大会における街頭補導など防犯活動を展開した。

(3) 警察との連携強化

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
スクールガード・リーダー配置事業（再掲）	学校や通学路における安全を確保するために、警察官OBや防犯の専門家等をスクールガード・リーダーとして委嘱するとともに、各小学校区を巡回指導します。	学校教育課	A	A	A			各小学校に適切に配置し、計画通り実施することができた。
市安全指導法研修会	地震、津波等の非常災害時の危機管理、不審	学校教育課	B	A	A			計画通り実施でき、各学校の安全点検表

(再掲)	者事案に対する対応、その他安全に関する研修会を実施します。							の見直しについて充実した協議を行うことができた。
市 水 難 事 故 ・ 交 通 事 故 防 止 対 策 連 絡 会 (再掲)	水難事故の防止、交通安全教室によるヘルメット着用の徹底と、地域ぐるみの交通事故0運動の実践に努めます。	学 校 教 育 課	B	A	A			各学校と関係機関による積極的な意見交換を行うことができた。

〈切れ目のない支援〉

(1) 地域、関係機関との連携強化

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
教育相談	関係機関からの情報や就学時健康診断を通して、未就学児の特性を把握し、必要に応じて、教育相談、発達検査等を実施します。また、就学相談を行います。	学 校 教 育 課	A	A	A			各学校や園、保護者の要望に応じて、計画通り実施できた。
移行支援 シート の活用	移行期における学校間連携について、文書等により確実に引継ぎを行います。	学 校 教 育 課	B	A	A			昨年度の引継ぎを基に、各園や鶴翔高等学校、療育機関との連携を図ることができた。

(2) 福祉との連携強化

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
県スクールカウンセラー配置事業 (再掲)	問題行動、不登校等に適切に対応するためスクールカウンセラーを配置します。	学校教育課	A	A	A			小・中学校の要請に応え、適切に配置することができた。
スクールソーシャルワーカー活用事業 (再掲)	関係機関との連携・調整を図り、児童生徒に関する諸問題の解決を図ります。	学校教育課	A	A	A			問題行動や不登校への対応に加え、「あくねす」においても児童生徒に寄り添った対応を実施することができた。
子ども・子育て会議 放課後児童部会	全ての就学児童の放課後対策と学校施設の放課後事業への活用について、協議する場を設けます。	福祉課 教育総務課 学校教育課	D	D	D			放課後児童部会は、開催することができなかった。

(3) 医療との連携強化

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
児童生徒の健康診断	学校保健安全法第13条に基づき、全ての児童生徒の健康診断を行います。	学校教育課	A	A	A			市学校保健会や関係機関と連携して、計画通り実施することができた。
就学時健康診断	学校保健安全法の第11条に	学校教育課	A	A	A			計画通り実施し、診断

断	基づき、次年度に小学校に入学予定の幼児の健康診断を行います。							結果を基に、疾病の治癒等について保護者に周知した。
学 校 フ ッ 化 物 洗 口 事 業	むし歯予防のため、各小・中学校において、フッ化物洗口を実施します。	健 康 増 進 課 学 校 教 育 課	A	A	A			令和5年10月から、市内全ての学校で洗口溶液を調製して実施している。

〈企業等との連携・協働〉

(1) 高校との連携・協働の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
小・中・高学力向上研修会(再掲)	市内の小・中学校と県立鶴翔高等学校が、共通テーマを設定し、研究授業等を通して学習指導法の改善に取り組めます。	学 校 教 育 課	A	A	A			三笠中・鶴翔高校・山下小が授業を提供して研修を行った。 継続した取組から、「学習者主体の授業」に向けた授業改善と市全体の学力向上策の改善が図られている。
あくねよかところ教育事業(再掲)	あくねよかところ教育を通して、市内の小学5年生から中学3年生の児童生徒が、「将来をどう生きるか？」について考えるとともに、学ぶ	学 校 教 育 課	A	A	A			前年度までの研究を基に、各学校の実態に応じた、キャリア教育の充実を図ることができた。

	意欲を高め、学力の向上に寄与します。							
--	--------------------	--	--	--	--	--	--	--

(2) 企業との連携・協働の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
あくねよかとこ教育事業 (再掲)	「あくねよかとこ先生」に登録している方を講師として学校に招き、キャリア教育の一環として、講話や体験活動等を行います。	学校教育課	A	A	A			前年度までの研究を基に、各学校で、キャリア教育の充実を図ることができた。

(3) 地域との連携・協働の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
地域学校協働活動推進事業	地域と学校をつなぐコーディネート機能の充実を図り、個別の活動の総合化・ネットワーク化を図ります。	生涯学習課	B	C	B			生涯学習課に推進本部を置き、学校に対する協力活動など、コーディネートを行うことができた。人材リスト等を整備する必要がある。

令和6年度「教育に関する事務の管理及び執行状況
の点検・評価報告書」についての教育委員評価

1 教育委員会の令和5年度活動内容について

教育委員会定例会や必要に応じて臨時会を開催し、教育委員会の基本方針をはじめ、規則・要綱等の制定・改正、予算等についての議案等について慎重に審議・議決した。議案等については、事前に配布され、事務執行報告や行事予定を通して、事務局との情報共有が図られている。

これらの内容については、市のホームページで会議録を公開しているが、会議の傍聴者もおられることから、委員会活動の実績、成果を含め、市民への情報発信はなされており評価できる。課題としては、新型コロナウイルス感染症の影響等により、移動教育委員会が実施されなかったことが挙げられる。

また、教育委員の研修については、国や県主催の研修会へ参加し、各地域の実態や取組、問題点について情報共有や意見交換が行われ、意義のあるものとなった。

学校訪問や学校経営説明会では、学校の経営方針や施設の把握、児童生徒の実態や今後の課題等を把握し、情報を共有することができた。また、今年度から学校行事が通常通り開催され、出席することができた。学校の率直な意見に耳を傾け、働き方改革の推進や要望、複式学級の問題点や教職員の困り感等を把握し、対応する必要がある。

未来を担い持続可能な社会で活躍する人材を育成するために、学校規模適正化協議会等を通して、将来の学校規模の在り方、保護者や地域住民と意見交換を行い、各学校の実態を把握することができた。

また、校舎等の老朽化が進んでいることから、修繕や改築により、安心・安全な学校づくりを行うことは、学校施設の維持・修繕の面から考えて、喫緊の課題である。

2 各事業への要望や意見について

確かな学力の定着をめざし、各学校は、前年度の課題をもとに、教職員が積極的な研修参加や研究授業に努め、授業改善や個別指導などの対策をとってきた成果が学力の向上へつながっている。

ICT機器を活用して、情報や視野が広がることで、深い学びにつながっている。基礎、基本の定着だけではなく、思考力、判断力、表現力などの主体的に学習に取り組む態度を養ってほしい。また、英語指導については、ネイティブ英語講師が配置されるなど、外国語教育の充実も図られている。

特別支援教育では、児童生徒一人一人の能力・適正に応じた支援が

図られている。今後も、子どもの自立と社会参加を見据え、関係機関とも連携を図りながら、発達段階に応じて継続していくことが望ましい。また、保護者への周知及び教職員の正しい理解を深め、保護者が相談しやすいよう、学校と連携を図りながら環境を整えることが必要である。

キャリア教育では、あくねよかところ教育が行われ、学校や地域の特性を生かした地域行事への参加等を通して、進路や自分の将来を考える教育活動が行われている。中学校ではスコラ手帳のツールを活用し、時間や習慣、思考や心を自己調整し、自ら学び、行動し続ける力を培っていることは高く評価できる。

また、学校や地域の特色を生かした道徳教育の工夫・充実が図られている。特に、人との関わりや生命の尊重、集団と社会との関わりを重視した道徳教育の実践が図られている。そのため、モラル・規範意識の向上、豊かな感性、自己の存在感・肯定感等が見られるようになるとともに、いじめ問題や不登校については、早期発見・相談事業等で解決するなど、生徒指導の充実に努めていることは評価できる。

「わかった。」「できた。」の基本的な教育はもとより、「もっとやりたい。」といった学習意欲を喚起させる発展学習及び一人一人の可能性を開花させる教育に期待したい。

安全・安心な学校づくりでは、老朽化した校舎の修繕及びトイレの洋式化を進める工事ができたことは評価できる。一方、阿久根小、阿久根中の長寿命化改修工事が仮設庁舎の入札不調の関係で進んでいない。学校規模適正化に係ることもあり、優先して行ってほしい。

奨学金貸付事業や濱風ゆめみらい奨学金貸付事業では、活用に向けて規則を改正し、柔軟に対応したことで、就学が困難な学生への経済的負担の軽減が図られたことは評価できる。

学校規模適正化事業は、基本的な考え方は維持しつつ、見直しを実施できた。学校の児童生徒数は年々減少傾向にあり、教育環境が大きく変わる中、複式学級も増えることに伴い、教職員の負担も大きくなっている。今後も、保護者、地域住民の意見を聴取し、丁寧に進めていく必要がある。多様な立場の者が協働的に議論しながら、納得解を生み出すことが求められる。説明・意見交換会は、実施日や時間など保護者等が参加しやすいよう、今後も検討する必要がある。

健康教育・食育の充実では、栄養教諭の派遣・活用で、年間 55 回派遣し、食に対する指導も計画通り実施されたことは高く評価できる。今後は、自分の命と向き合うために、児童生徒自身が健康であることの大切さ、自分自身のアレルギーの有無を再確認すること、食に感謝することができるよう、継続した取組をお願いしたい。

また、学校給食地産地消推進事業で地元食材を活用し、食育の啓発に取り組むとともに、地元の特産品や産業について学び、食材への関

心を高められたことは評価できる。食材が高騰する中、安定供給できるよう、今後も、関係機関との連携を図り、安心・安全を基本に栄養のバランスの取れた給食が提供できるよう、引き続き努めてほしい。

生涯学習講座は、新規講座が4講座増え、市民が学べる場や活動内容を工夫できたことは評価できる。また、生涯学習フェアは、それぞれの活動発表の機会であり、生きがいに繋がる取組となっている。

市総合文化祭は、演芸部門で9団体増加した。学習機会の提供と発表の場があることで、やりがいや生きがいに繋がっているため、高く評価できる。また、あくね洋画展は、ジュニアの部の出展が減少したが、年々レベルが向上してきており、評価できる。どちらも継続した取組をお願いしたい。

市立図書館の整備事業は、施設整備の財源確保が難しい状況であるが、関係課で協議を行い、検討を行ったことは評価できる。図書館は地域の記憶を残し、伝える場でもあるため、さらに検討を進め、早期実現に向けて取り組んでほしい。

健康づくり事業は、健康教室等を実施し、市民の健康への意識も高まっている。また、本市で初めて総合的スポーツクラブが設置され、部活動やスポーツ少年団などと連携した取組など、今後の活躍を期待したい。

チャレンジアップスイミング教室は計画通り実施でき、海の子カーニバルも4年ぶりに国体の遠泳として実施できたことは評価できる。「海のまち あくね」で育った児童生徒の記憶に残る行事として今後も、継続した取組をお願いしたい。

特別国民体育大会推進事業は、51年ぶりの開催となり、正式競技のボクシングは、各関係機関の方やボランティア及び市職員など、様々な協力体制で市民一丸となり大会を盛り上げることができ、素晴らしい大会となった。

3 総括（全体としての意見）について

教育委員会事務局、教育委員、学校との連携・協力が図られ、一定の成果を上げている。各課、学校を含む関係機関との連携を密にし各施策についてスピード感をもって取り組み、その成果が確実に上がってきている点は評価できる。

学校教育では、教職員一人一人が使命感と情熱をもって日々努力し、指導主事等の指導・助言のもと、授業力の向上、指導法改善に向けて成果を上げた結果、確かな学力の定着につながっている。

また、児童生徒の生き生きとした明るい表情も見られ、教職員との信頼関係も築かれている。不登校の児童生徒の支援についても、市自立支援教室「あくねす」を開設し、学習や相談等を行っている。さらに周知し、学習のみならず、孤立させない取組や居場所づくりとして

安心して通えるように配慮し、学校復帰をめざしてほしい。

教職員の働き方改革は、児童生徒により質の高い教育を持続、発展させるために重要なことであることから、今後も進めていただきたい。

社会教育事業やスポーツイベントについても、通常開催できるようになり、さらに活気が出てきている。特別国民体育大会は、市民総出で開催を盛り上げ、おもてなしも大変好評であった。

学校の小規模化が急速に進む中、学校規模適正化に関する検討との整合性を図りながら、基本的な方向性は維持しつつ、新たな方向性を示した。

学校教育は、多様な他者と協働しながら社会的変化を乗り越え、豊かな人材を切り拓き、持続可能な社会の作り手となることができるようにすることが求められる。全ての子どもたちが、自己肯定感を育み、心豊かに生きていくための力、急激に変化する社会の中でよりよく生きていけるよう、公教育の果たす役割は大きい。複式学級の解消は、喫緊の課題である。ある一定数の人数であることや子どもたちが、切磋琢磨して学習することが重要である。保護者や地域住民への説明・意見交換会を行い、児童生徒の一人一人の将来を考えることを第一義にして理解を深める中で進めてほしい。

今後も、あるべき阿久根の教育環境の姿を探求し続け、阿久根の宝これからの未来・社会を担っていく子どもたちのために、また、市民の皆さんが心身共に健康で「生きがい」をもち、より良い人生を送ることができるよう、引き続き継続した取組をお願いしたい。